

「グループ経営方針2023」

環境変化への対応, 企業体質の変革

DX戦略

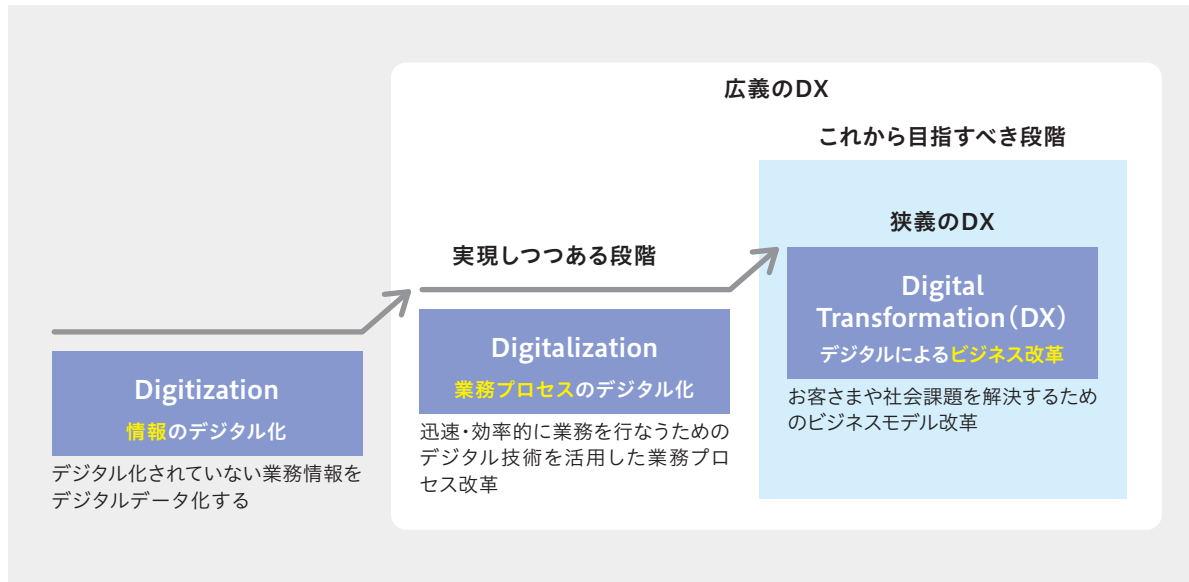
「グループ経営方針2023」に基づき、「持続的な高成長を実現する事業の変革」の実現に向けて、「その変革に不可欠となるデジタル基盤の高度化」を実効ある形で強力に推し進めることで、IHIグループのデジタルトランスフォーメーションを加速させます。

IHIグループにおけるDX戦略

DX推進における原則

IHIグループでは、デジタルイゼーションを含めて「広義のDX」と定義します。これまでにないスピード感と規模感でこのDXを実現するため、まずデジタルイゼーションを徹底します。具体的には、①業務プロセスを徹底的

に分解・整理して、②データによる業務プロセスの見える化を行ない、③まず共通化・標準化すべきものを決定し、カスタマイゼーションを最小化する「固変分離」の考え方に基づいて業務プロセスの設計／再設計を行ないます。この際、人手によるデータ加工の排除と業務プロセスの共通化に努めます。これにより初めて④システムを導入し、⑤データに基づく検証と修正を行ないます。



事業別のDX戦略

①成長事業:航空エンジン・ロケット分野

航空エンジン分野では、Fit to Standardアプローチの下でデジタル基盤を強靱化し、生産効率改革、開発プロセス改革、業務構造改革、およびカーボンニュートラルを同時並行で進めます。これらのデータを一気通貫でつなぐデジタルスレッドを完成させ、世界トップクラスの効率を実現し、「世界に追いつき、追い越す」ことを達成します。

②育成事業:クリーンエネルギー分野

ライフサイクルやバリューチェーンの視点で、新たな事業創出を積極的に展開します。例えば、アンモニアバリューチェーンの構築においては、アンモニア製造(上流)から燃焼・利用(下流)にかけて、他社とも協業しつつ、ブロックチェーンなどのデジタル技術を活用し、グリーンアンモニアの価値を高め、用途の拡大を図ります。併せて、デジタル技術を活用し、効率的なアンモニア製造方法の確立を目指します。

③中核事業:エネ・産汎・社基分野

LCBの深化と進化に向けて、デジタル技術を活用して、カスタマーサクセスと業務プロセス改革を同時に追求します。具体的には、お客さま・パートナーとのデータ連携によって、他社製も含めたお客さまが保有する設備の稼働状況・運用計画などを収集し、ライフサイクルを通じたお客さまの課題解決を実現します。また、これと連携して、業務プロセス改革を進め、製品・サービスの開発・供給スピードの向上を実現します。

本社機能におけるDX戦略

「グループ経営方針2023」の目標達成に向けて、各事業におけるDXだけでなく、変革を実現する企業体質の構築を目指し、財務、人事などの本社機能においてデジタル技術を活用したドラスティックな業務プロセス改革を進めます。

①財務DX

データをもとに迅速に判断できる経営の実現に向けて、徹底的な業務の効率化と高度化を目指します。そのために必要なデータを定義し、IHIグループ全体で財務・業績に関わる業務プロセスを再構築して、効果的なデータ収集・蓄積・活用に至る仕組みづくりを行いません。また、それによって標準化された業務プロセスの集約・自動化等を通じて、管理・間接業務の削減とリソースの最適化を図ります。

②人事DX

事業・企業体質の変革を成し遂げるため、変革人財の育成・獲得を進めるとともに、人財リソースをアジャイルかつ適切に配置する必要があります。事業戦略の実現に向けて必要な能力要件などの情報に加え、スキル・資格・評価・経歴・ワークエンゲージメントなどの人財情報を見える化・管理する仕組み(タレントマネジメントシステム)を構築することで、人財育成・獲得および配置の最適化を図ります。

事業変革に不可欠なデジタル基盤の高度化

「グループ経営方針2023」で掲げた、①グローバルレベルの競争力を有する新たなビジネスモデル構築のためのデジタル基盤、②ドラスティブな生産・業務プロセス改革のためのデジタル基盤の実現に向けて、以下の施策を実施します。

(1)DXおよびデジタル人財の育成・強化

社会課題やお客さま価値を理解し、ビジネスモデルや業務プロセスそのものを、デジタル技術を駆使して変革するためには、DXを理解して変革できる人財(DX人財)とそれをAI/データ分析や情報セキュリティ、ICTなどのデジタル技術で支える人財(デジタル人財)が不可欠です。DX人財の育成としては、IHIアカデミーの経営・専門人財育成プログラムと連動しながら、IHIグループ

全社員に対して、職務に応じた教育を実施します。また、外部採用も積極的に行なう方針です。

(2)データマネジメント基盤の構築

データガバナンスを確立した上で、SBUや事業領域の枠を超えた全社共通で利用可能なデータやツールを束ねたデータマネジメント基盤を構築し、さらなる高度化を図ります。財務、人事、業務プロセスから発生するインターナルのデータ、お客さまの当社/他社設備データなどのエクスターナルのデータ、各現場のアプリケーションツール等を収集・蓄積して再利用可能とします。

(3)システムと情報セキュリティ

これまでは各SBUやサブユニットが個別にシステム投資を行ってきましたが、今後はグループ全体でシステム投資と費用の最適化を目的としたシステムガバナンスを確立します。また、DXを進めるためには、IHIグループ以外の企業やお客さま・パートナーとのデータ・情報の連携と共有が必要となる一方で、きめ細かな情報セキュリティ対策が求められます。こうした利便性と安全性を両立させるため、ゼロトラストの考えに基づいたネットワーク基盤を構築します。

●グループDX戦略2023の全体像

